

# 障害者就労移行促進補助事業の創設について（障害福祉施設整備）

社会福祉部障害福祉課

## 1 目的

第2期浜松市障害福祉計画の基本目標のひとつである、「福祉施設から一般就労への移行」など、障がいのある人の自立を支援するため、社会福祉法人等が国庫補助により、就労支援施設等を整備する際、施設利用者と地域住民が日常的に交流し、一般就労を促進するための「地域交流の場」の設置に対し、市単独補助を行うものである。

## 2 概要

### 補助対象等

- (1) 補助対象者：社会福祉施設等整備費補助金（国庫補助）により、生活介護、就労移行支援、就労継続支援、自立支援訓練施設等を整備する社会福祉法人及び医療法人
- (2) 補助対象事業：就労移行支援、就労継続支援、自立支援訓練施設で、一般就労移行促進をするための地域交流の場の設置（市単独補助）
- (3) 基盤整備計画

障がいのある人の就労ニーズに対応するため、第2期浜松市障害福祉計画における基盤整備計画に基づき、主に特別支援学校の卒業後の受け皿を確保するため、福祉施設において一般企業への就労を促進するための訓練等を行う「就労支援施設等」を創設する。

### ア 特別支援学校生徒の卒業後の進路先（平成19年度実績）

	生徒数	就職	進学	福祉施設	訓練校	その他
高等部	89	17	8	58	5	1
割合(%)	100.0%	19.1%	9.0%	65.2%	5.6%	1.1%

### イ 特別支援学校生徒（1～3年生）の卒業後の希望進路先（平成20年4月調査結果）

	生徒数	就職	進学	福祉施設	訓練校	その他
高等部	303	82	31	131	18	41
割合(%)	100.0%	27.1%	10.2%	43.2%	5.9%	13.5%

\* 福祉施設とは、生活介護、就労移行支援、就労継続支援、自立訓練施設、授産施設等

### ウ 設置箇所数（第2期浜松市障害福祉計画 基盤整備計画）

年度	障害福祉サービス	箇所数	定員	定員計
22	就労移行支援・就労継続支援B型の複合施設	2	42人	62人
23	就労移行支援・就労継続支援B型の複合施設	1	20人	

### 地域交流の場の必要性（市単独補助）

特別支援学校高等部卒業後の希望進路先として、131名が福祉施設を希望しており、その受け皿が急務となっているが、福祉施設（就労支援施設等）の整備には限界がある。

こうしたことから、福祉施設から一般就労に結びつける必要がある。そのため、施設の地域交流の場において、地域や企業の人々と障がいのある人が日常的に交流を図ることにより、障がいのある人への地域や企業の理解が促進され、地域や企業との関わりを強化することで、一般就労に結びつけていきたい。

### 第2期浜松市障害福祉計画に関するアンケート調査結果（平成20年7月実施）

対象者：3,232人（20年6月1日現在での障害福祉サービス等事業の受給者全員）

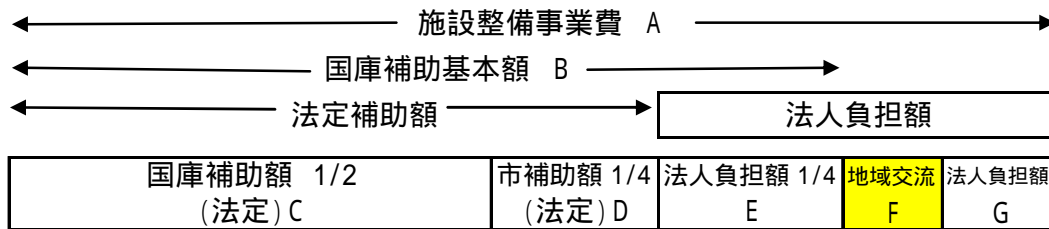
有効回収数：1,809人（回収率56.0%）

障がいのある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切か。(複数回答可)	周囲が障害を理解してくれること
	51.6% (933人 / 1,809人)

### 3 就労支援施設及び地域交流の場の概要

就労支援施設及び地域交流の場の利用法
<p>「就労支援施設」 地域の中心的な産業である農園芸分野での訓練や農産物の箱入・梱包作業を行うと共に、部品の組み立て作業の訓練等を実施し、障がいのある人の就労を促進していく。</p> <p>「地域交流の場」 地元農家と協力して農産物の朝市やバザー、地域のイベント、会議、ボランティアの情報交換の場、講習会等、施設を積極的に開放し、障がいのある人への理解を促進するため、地域との交流を図っていく。</p>

### 4 補助対象経費のイメージ図



## 特別養護老人ホーム整備事業について

社会福祉部高齢者福祉課

### 1 目的

在宅での生活が困難な高齢者の生活場所を確保するため、特別養護老人ホームの施設整備を推進する。

平成 22 年度は「はままつ友愛の高齢者プラン」に基いて、3 施設 160 床及びショートステイ専用居室 40 床を整備する。

### 2 特別養護老人ホーム整備の現状

- ・特別養護老人ホームの入所待機者が多いため、市民や議会から建設の強い要望がある。
- ・国は緊急経済対策の一環で、今期計画（H21～23 年度）中に次期計画分の前倒しを含めた整備を求めている。
- ・今期計画中の整備事業については、特別な地方財政措置がとられることとなっている。

### 3 事業内容と補助予定額

平成 22 年度事業を募集したところ、7 法人から計 502 床の提案があり、審査の結果 3 法人 160 床（ショートステイ専用居室を含めて 200 床）の整備を採択した。

（福）峰栄会 創設 特養 80 床 ショート 20 床

補助金@3,375 千円×100 床 = 337,500 千円

（福）三幸会 増築 特養 50 床 ショート 10 床

補助金@3,375 千円×60 床 = 202,500 千円

（福）松風 増築 特養 30 床 ショート 10 床

補助金@3,375 千円×40 床 = 135,000 千円

合計 特養 160 床 ショート 40 床

補助見積額 675,000 千円

### 4 開設数と待機者数

- ・平成 18 年度から 20 年度の介護保険事業計画においては、国の方針に基づいて地域密着型（小規模）特養の整備を計画していたが、事業希望者が少なく、施設整備が計画どおりに進まなかった。
- ・その結果、平成 19・20 年度の開設数が減少し、入所待機者数が増加している。

区 分	H17	H18	H19	H20	H21
開設数（床）	160	180	40	0	185
待機者実人員（人）	2,887	2,398	2,692	3,105	
うち在宅で要介護 1～5	1,580	1,492	1,401	1,899	
うち在宅で要介護 4・5	399	380	348	462	

（注）「開設数」は当該年度内に供用開始したベッド数

「待機者実人員」は、当該年度の 8 月 1 日時点の状況

5 整備計画

- ・ 増加する待機者の状況を考慮し、引き続き施設整備を推進する。

【整備計画と補助予定額】

区 分		H21	H22
整備計画（ベッド数）		0	160
補助予定額	@3,375 千円 / 床		@3,375 千円 × (160 床 + ショート 40 床)
	合 計	0	675,000 千円

6 所管課見積額

総事業費 32 億円(平成 19 年度～平成 27 年度)

# 介護老人保健施設整備補助金（中山間地域）の創設について

社会福祉部介護保険課

## 1 目的

地域に即した介護サービスを提供するために、中山間地域において整備要望のある介護老人保健施設の整備を行う社会福祉法人等に対し補助金を交付し、中山間地域における介護サービス事業を推進し社会福祉の増進を図る。

## 2 事業内容

中山間地域の介護老人保健施設整備事業

中山間地域（春野地域）の介護老人保健施設整備に補助金を交付し整備促進する。

## 3 再々募集内容(案)

整備予定地：浜松市天竜区春野町気田 776-5 他（市有地：敷地面積 3,409.33 m<sup>2</sup>）

定 員：60 床以内

条 件：2 階建以下

そ の 他：土地借地料 432,367 円 / 年

## 4 所管課見積額 2 億円